

《7・8月の予定》

- 7月 1日(月) 求人受付開始
- 2日(火) 第1学期期末試験(～4日)
- 4日(木) 交通安全教室(5～6時限)
- 6日(土) 外部模試(3年)
- 13日(土) 電卓検定・危険物取扱者試験
- 16日(火) 講演会『性感感染症の予防』について
- 19日(金) 第1学期終業式・壮行激励会・学年指導
- 20日(土) 夏季休暇(～8/31) 西館職員室移動(耐震工事のため)
- 22日(月) 夏季補講(進学・就職、～26日)
電気工事士補講(電1～3年、～26日)
ガス溶接講習(自1年、～24日)
- 26日(金) 登校日(2年)
- 30日(火) テッサン講習会(中学生対象、～31日)
- 8月 1日(木) 登校日(1・3年)
- 3日(土) 一日体験学習(中学生対象、～4日)
- 20日(火) 登校日(2年)・夏季補講(3年就職、～23日)
- 26日(月) 登校日(1・3年)
- 30日(金) 西館職員室移動(復元)



D3-1 青木 渚

就職活動スタート

いよいよ7月1日から求人受付が開始され、平成25年度就職活動がスタートします。3年生にとっては、これから校内選考、会社見学、就職補講、統一書類の提出、そして9月16日からの就職試験へと暑い暑い夏になりそうです。

情報科学部の目標である“生き方探しの3年間”は、“仕事探しの3年間”でもあります。これからの生き方を決定づける職業(仕事)を真剣に考え、決してあきらめることなく、全員が確実に内定を取り付けて欲しいものです。

ところで、先日行われたキャリア教育で外部講師の方から次のような話がありました。「企業が求める人材は、基礎学力、コミュニケーション能力が身に付いていることはもちろんのこと、人物面を重視し、挨拶のできる人、ルールを守り行動できる人です。・・・」

1・2年生も含め、皆さん、いかがですか？これらのことを意識して日々行動しているでしょうか。挨拶・身だしなみ・時間厳守等は、普段から言われていることばかりです。もう一度、自分自身を振り返り、きちんと正していきましょう。



幼稚園実習を経験して

ライフデザイン科3年の保育コースを選択している生徒を対象に幼稚園実習を実施しました。生徒たちは2年生の時から保育検定を通して学習したことを活かし、子ども達とのふれあいを実際に体験することで、保育の認識を高めることを目標に行っています。

ライフデザイン科3年2組 篠崎 依都加

一日目の朝、緊張しながら幼稚園に行き、担当の年少組に入りました。まだ、六月だというのに園児たちは、朝園に来たら何をするか分かっていて、スモックに着替えボタンをきちんととめ、自分のことは自分でやり、本当にえらいなと感心しました。ふと、私の三才の頃はどうだったのだろうと、自分の小さいころを振り返ってみたりしました。「お姉さん」と声をかけてくれ、一緒に遊びながら、子ども達のパワーはすごいなと思いました。この貴重な3日間は、私の夢である「幼稚園教諭」をさらに高め、その夢を実現するために努力していきたいと思いました。



作新学院大学他見学

6/11(火)、3年進学希望生徒が作新学院大学・帝京大学・文星芸術大学へ模擬授業などのオープンカレッジに参加しました。実際の大学生活に触れたことで、進路選択の大きなヒントを得たようです。また、同日、就職希望生徒に対して、第2回「就職対策講座」が実施されました。



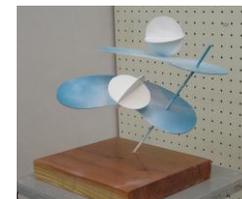
作新学院大学



OBの話
(手前は太田学長)

宇都宮市民芸術祭 美術部門に出品して

第34回宇都宮市民芸術祭が、6月12日から6月16日まで宇都宮美術館で開催されました。美術コースの彫刻専攻4名が出品し、優秀な成果を収める事ができました。佐藤みず穂さんの『空』、鈴木奈々さんの『すすむ』が奨励賞に選ばれました。秀作には、青木渚さんの『未来圏からの風』、青田彩月さんの『欲から出た言葉』がそれぞれ入賞しました。どの作品も、高校生の新鮮なテーマや若々しい作風が評価されました。



奨励賞(彫刻部門)

『空』



奨励賞(彫刻部門)

『すすむ』

教育実習が終わって

6月3日(月)から、2～3週間の教育実習が行われました。意欲に満ち溢れた実習生たち7名は、担当クラスのHRや模擬授業・研究授業と、真剣に実習に取り組んでいました。

〈感想〉

2週間という、実習としては非常に短い期間でしたが、懐かしい校舎や、気さくにお声をかけてくださった先生方、明るい生徒さんたちに助けられ、とても充実した時間でした。本当にありがとうございました。 龍福実習生



情報科学部での高校生活は

“生き方探しの3年間”

編集係から

求人受付が開始されました。生徒の約半数が就職希望である情報科学部にとって、これから、暑い夏が始まります。決してあきらめることなく、自分の夢や希望を叶えて欲しいと思います。